
禁断症状

百合茶

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

禁断症状

【コード】

N8997A

【作者名】

百合茶

【あらすじ】

僕が病室の扉を開けると女性が居た。見たところ、アル中患者だろつ。

気分が悪い。また手が震えだして体が言う事をきかない。早く、早く探さなきゃ。この症状を止める、唯一の特効薬を…。どこかしら？アレは一体どこに？…机の…上かしら？でも、でも手が…

「だっ、大丈夫ですか!？」

誰もいないはずの病室で、女性が苦しそうに這っていた。震える手で必死に花瓶を取ろうとしている様子から、アル中患者と思われる。「可哀想に。目に映る瓶は全て酒に見えるんだな。」

しかし…なぜ患者がこんな所にいるのか？ここは先週まで普通の大部屋だったが、精神病患者が身投げしたので、安全のための格子の設置工事が終わるまで、一階の診察室以外は新館に移っているのだ。どうして、どうやってここまで来たのか分からないが、このままでは危ない。とりあえず元居た病室に連れ帰ってやらないと…。

「さ、行きましょう。手を掴んで…」

体を支えて立たそうとするが、彼女の目に僕は映っていないようだ。「苦しいのは分かるよ。楽にしてあげるから、僕の手を…」

背中をさすりながら優しく話かけると、花瓶に伸ばしていた手が急に止まり、僕の目を捕えた。助けを求めるように、瞬きもせず僕だけを見つめる。

「ほん…と?」

安心させるため、僕は無言で頷いた。

「欲しい…アレ…」

しかし彼女はすぐに視線を花瓶に向けた。そして、もどかしそうに腕を動かし、執拗に花瓶を求めた。

よく見ると、枯れかけた花が生けられている。

もしかすると彼女は、身投げした患者同様、精神を患っているのかもしれない。

「ほら、これと一緒に部屋に帰ろう。」

欲しがる彼女へ、花瓶から一輪の花を抜き取った。

と、その時、彼女の腕が今までの動きとは明らかに違う素早さで、がっしりと僕の腕を掴んだ。

「ど、どうし…」

言い終わらないうちにそのままぐいっと彼女の方へ引き込まれた。

恐ろしい形相で僕を見つめる。僕だけを見る。鼻筋の通った白い顔が美人である事を証明しているが、それ以上に乱れた髪と黒ずんだ爪と狂気に血走った目が僕を捕えて動けなくした。

「取って…早…く」

しわ渴れた声で彼女が囁く。僕は彼女から震えが伝染したのか、左手に花瓶、右手に枯れた花、その腕に彼女をつけたまま震え始めた。恐怖に腰が抜けて動けない。

「ひっ！」

ゆっくりと彼女の腕が僕の体を這って、少しづつ体重をかけ始めた。そしてようやく左手の花瓶に手が届くと、安心したように笑いかけた。

ちよつと僕も安心して力を抜いた。

途端、後頭部を襲った打撃。耳をつんざくような激しい破壊音とともに僕の悲鳴がズキズキ響く。彼女を突き離して地面に手をつくとき、頭を触らなくてもぼたぼたと垂れ落ちる花瓶の水が、だんだん赤く染まっていく。

どくどく波打つ脈が心臓から腕の動脈、こめかみへと移動し、傷口を刺激する。

「そう、これ…簡単にはやめられ…ない…のよ。」

彼女の悲鳴のような笑い声が聞こえる背後から、ズキリ、ズキリと割れた瓶の切っ先が当たる。左の肩や腕へ続く筋繊維や血管が、ずたずたに切り裂かれるのが分かる。耐えられずに地面へ伏つた瞬間

間、最後の一振りが僕の鼓動の根源を捕えた。
カチリと音がして、地面にボールペンが落ちる。

×月×日、午後23時14分。今度は忘れないよう、しっかり手帳
に記録しておかないとね。…次は再来週の火曜日までに殺れば表れ
ないわね。

人を殺さないと気が済まない、禁断症状。

(後書き)

殺人中毒に禁断症状：

そんな人がいたら困ります(汗)

最後までありがとうございました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8997a/>

禁断症状

2010年10月31日05時36分発行